

# 北海道日本ハムファイターズとの記念植樹・野球教室

## 尾崎匡哉捕手・北篤 外野手がやって来た



北外野手  
(背番号37)



尾崎捕手  
(背番号53)

北海道日本ハムファイターズと小中学生との「記念植樹」「野球教室」が12月14日(土)に行われました。11回目となる今年度は、日本ハムファイターズの、尾崎匡哉捕手と北篤外野手を招いて、町内の小中学生45名が参加して交流を深めました。

最初に、かなやま湖畔でアオダモの森において「記念植樹」が行われ、バットの材料にも用いられるアオダモ等の苗木が両選手と小中学生などにより、植樹されました。

「野球教室」では、会場を南富良野高等学校体育館に移して行われ、両選手がユニホーム姿で現れると、



子ども達の、選手を見つめる目は一層輝きを増していました。

両選手の紹介後、子ども達と一緒にグループ毎にキャッチボールや捕球の仕方、トスバッティングなど



を指導し、子ども達は、真剣にプロ野球選手からのアドバイスを耳を傾けていました。

守備練習では、フライとゴロの捕球の仕方や捕球後素早く返球する仕方などの



指導を受け、返球を受けた選手のミットからは心地良い音が館内に響いていました。

打撃練習では、トスバッティングを行い、ミートポイントを意識した練習を行いました。

選手から、顔を残し、体は突っ込むことなくバッティングを行うようにと指導を受け、子ども達は、鋭く速いスイングを心掛けていました。

最後に、参加した子ども達を代表し、南富良野中学校野球部、主将(2年生)今野響輝君から「今日教わったことを一生懸命練習



に生かしていきたい。」とお礼の挨拶が述べられました。野球教室終了後サイン会が行われ、両選手からサインをもらい握手をした子ども達は、笑顔で両選手に感謝を述べ、夢と希望が膨らんだ様子でした。

(本事業は、ニトリ北海道応援基金助成事業を活用しています。)



## 平成25年度 移動町長室を開催

自治会推進条例に基づく「移動町長室」が11月25日の下金山地区を皮切りに12月2日の金山地区まで町内5地区の会場で開催され、72名の町民の皆さんが出席されました。

この移動町長室は、行政の執行状況などの報告やまちづくりに対する住民の方々の意見や提言を直接お聞きする機会として各地区の町内会や自治会の協力のもとで行うものです。

各会場では、最初に池部町長から、本年度の本町の主要な行政の執行状況として、生活支援ハウスの基本設計等福祉関係全般、10月16日に台風と寒気の影響による降雪による被害状況等と町内商工業の振興・町民の生活支援を目的に、町が支援する町商工会の「プレミアム商品券」事業や、農業基盤整備の道営事業における鹿柵設置や土地改良事業の状況や農業担い手対策などの産業全般、生活環境の向上、安心・安全なまちづくりの推進などを説明しました。

また、教育委員会が行っている小・中・高連携教育の推進状況や生徒確保に努めている南富良野高等学校の各種振興策、「高大連携協定」を締結し、現在町が取り組んでいる主な事業について説明を行い、「ご理解とご協力をお願いします」。

この後、懇談に入り、出席された皆さんからは、災害時の体制や町道



の整備・補修、町内の道路の除雪やデマンド方式のバスのあり方など、生活環境に密接な課題や要望があり、町の考え方や対応策などを説明しました。

これらの要望などについては、その緊急度や効果などを勘案し、財源の許す限り予算化に向けて努力してまいりますので、町民皆さんのご理解とご協力をお願いします。

なお、移動町長室において出されたご意見やご要望については、次号(2月号)において掲載します。

## 南富良野町農業委員会 「農業振興施策に関する建議書」を提出

12月2日、南富良野町農業委員会(小林彦一会長)は、農業を取り巻く環境の厳しい農業情勢を受けて、各種農業施策の継続実施や農業支援対策について要望を盛り込んだ「農業振興施策に関する建議書」を池部町長に提出しました。

建議書では、町独自の事業として実施している農業元気づくり事業「(農地融雪促進事業)(融雪剤助成)・(地力増強事業)(緑肥助成)・(新規作物導入事業)(ハウス助成)・(畑作物共済掛金助成の継続実施や、

農業後継者・新規就農者を対象に就農奨励金制度の検討と近年の異常気象による断続的なゲリラ豪雨などで農道の砂利や畑の表土が流され、更には法面が崩壊したり、排水管が損傷する等の被害を受けているのが現状であり、鹿等防護柵設置が完了されましたが、今後も農作物の被害があると思われるので、野生鳥獣が適正な個体数となるよう、駆除の継続等、農業経営者の高齢化や後継者不足による遊休農地および耕作放棄地の増加に対する農地流動化対策の強化、地産地消への取り組み、国

が推進する6次産業化(食品加工)の検討、燃料価格および粗飼料、肥料・生産資材などの高騰に伴う町単



池部町長に建議書を手渡す小林会長(右)

独による農業支援などについて要望されました。また、WTO農業交渉並びにEPAやFTA交渉に当たっては、農業・農村の多面的機能の発揮や、食糧安全保障の確保を図るなど、わが国農業全体が壊滅的恐れのあるTPP(環太平洋経済連携協定)交渉への対応に関する要望などを、国や道に対して積極的に要望するよう要望がありました。

町としては、基幹産業である農業の安定と振興は、まちづくりにとって必要不可欠でありますので、町の財政事情を勘案し、様々な施策を講ずるよう検討してまいります。